



全力投球

石部中学校のようすや生徒の活躍を紹介します。

湖南省立石部中学校 学校便り NO10

入学試験が始まりました。

2/3, 4 県内私学入試 2/5, 6 特色・推薦・スポーツ文化芸術推薦

卒業後進路を決定していく高校入試が本格化してきました。県内の私立高等学校の試験が2/3を中心に、県立高等学校の特色選抜、推薦選抜、スポーツ文化選抜が2/5を中心に行われます。本校3年生も県内私立高等学校の試験に74名、県立高等学校の特色推薦スポーツ文化選抜に53名が受験をします。受験は、中学生にとって、初めての試練とも言えます。今までの努力を發揮できるように、体調管理には十分気をつけて受験に臨んでください。1, 2年生もやがて体験するできごとです。学力をつけていくには、近道はありません。日々の授業に集中する、家庭で復習予習をおこなう、など地道にコツコツと努力を積み重ねていくことが一番です。3年生になってから「1, 2年のときにしっかりしておけばよかった」と後悔しなくて済むように、この機会に自分の授業中の様子や家での学習状況をふり返って見ましょう。



また、入学試験で面接が実施される場合もあります。地域のボランティアの方が、面接試験を受ける3年生に対して練習を行っていただきました。礼の仕方からはじまり、面接を受ける場合のポイントを丁寧に指導していただきました。3年生も緊張の面持ちでしっかりと練習をしていました。

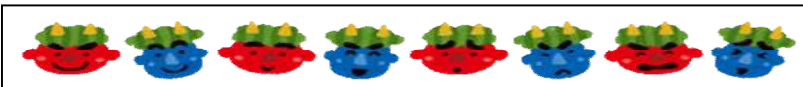
「あいさつ」「言葉使い」「話を聞く姿勢」などは日常から身につけておくことが大切です。学校では教科の学習だけでなく、集団生活を行う中で、将来社会人として必要となる礼儀やマナーも学んでいきましょう。

~~~~~

## 石部中学校区人権フェスタ開催1/18(土)



石部中学校区にある学校関係者、社会施設、PTA、地域の方々が一同に集まり人権について考える「人権フェスタ」がドリームホールで開かれました。相手の気持ちになって考えるということテーマにした「人権劇」や「いじめ」の愚かさを訴えた石部中学校生徒作成の「人権映画」、6人の講師先生が「本」となってご自身の生き方を語られる「リビングライブラリー」など、人権について地域で語り合う機会となりました。参加した方からは「普段、ゆっくり人権について考えることも少ないので、多くの方の思いが聞けてよかった」などの感想が寄せられていました。



## 石部中学校入学説明会1/31

1月31日(金)に入学説明会が開かれました。今春の入学人数は93名の予定です。新2, 3年生は先輩としてあたたかくむかえてあげてくださいね。すてきな先輩の姿を見せてあげてくださいね。





## 甲賀市湖南市 PTA 連携交流研修会 1 / 26 (日)

「スマホやタブレットの安全な使い方～大人が知らない世界～」という演題で篠原嘉一さんを講師に迎え、甲賀市湖南市の PTA 連携交流会が石部文化ホールで行われました。篠原さんが教えてくださる内容に、参加者も驚くことが多く、有意義な研修になりました。

「SNS を通して知らない間に自分の情報が発信されていることがある。」「投稿した写真から、住所などが特定される」「不適切な投稿をしてしまうと拡散され、削除されることは不可能」などスマホを安全に使うことの大切さを教えていただきました。



### 行事予定



2/3、4 (月、火) 県内私学入学試験

2/3 (月) は3年生給食無し

2/5、6 (水、木) 県立高校特色・推薦

・スポ文化芸術推薦選抜

2/5 (水) は3年生給食なし

2/19 (水) 学年末テスト①～③給食なし

2/20 (木) ③までテスト (1, 2年給食なし、)

3年③から授業 (給食あり)



2/21 (金) 1, 2年テストと授業、3年授業

3/3, 4, 5 (火、水、木) 県立志願変更

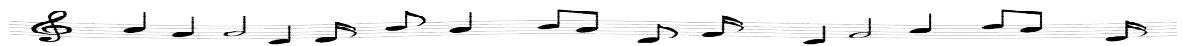
3/10 (火) 県立高校一般選抜

3/14 (土) 卒業式

3/16 (月) 振替休日

3/17 (火) 県立高校一般選抜合格発表

3/24 (火) 修了式



### 胃カメラ (校長のつぶやき)

50歳近くから、年に1回、健康診断にいくようにしています。血压検査や血液検査、脳検査など一通りお願いしています。その中に胃の検診があります。胃カメラを飲みます。口または鼻から、小さなカメラのついたチューブを入れていきます。ここ数年は細い管ですので、鼻から入れています。ただ最初に胃カメラを飲んだ時には、太めの管で、口から入れました。最初だったこともあってか、ともしんどかったです。目の前のモニターには、自分の食道や胃の内部が写っているようでした。普段なら、「こんな機会めったにない」としっかり観察する理科教師なのですが、残念！見ている余裕はまったくありませんでした。お医者さんの「ね、ここ少しあれていきますよね。」という声は聞こえていましたが、うなずくことも無理でした。心で「胃カメラって、こんなにしんどいの？はよ終わって！あれててもええねん！もうやめて！」と私の心もあれていました。その時でした。「だいじょうぶですよ。山村さん。すぐに終わりますからね。」という声が背中越しに聞こえてきました。同時に、背中を優しくさすってくださいました。横たわってましたので、姿は見えないのですが、看護師さんです。「しんどいでしょうね。」「大丈夫ですよ。」背中をさすり続けてくださいます。単純なものです。つらさがずいぶん楽になったような気がしました。けっこうなおっさんおじさんですが、小さな子どもが「痛い痛いのとんでけー」と言っているのと、同じような効果だと思われます。

胃カメラの場面ではありませんが、心がつらいとき、しんどいときに、かけてもらった言葉で気持ちが少し楽になることがあります。「言葉はすてきな薬」だなと思います。逆に「うざい」「しね」などの言葉を言われたら、ますます心はつらく、しんどくなります「言葉は毒」にもなります。

「すてきな薬」の方の言葉を話すことができる人は素敵だな。そんな人になれるかな。なりたいな。いつも思っています。

